

第5章 経済生活を営む

⑤ 省エネルギーのためにできることを実践しよう

名前

1 1か月の環境家計簿をつけよう。

※CO<sub>2</sub>排出係数は地域によって異なる

(1) 以下の方法で記入しよう。

- ①電気、ガスは使用料の分かる明細書(検針票や請求書)をチェックする。
- ②水道は2か月単位で検針されている場合は、使用料の半分を記入。
- ③灯油、ガソリンはレシートなどから給油量を合計する。
- ④ごみは重量を計算して記入する。  
(例) ごみ袋の容量(L)×個数×0.1

項目	使用量×CO <sub>2</sub> 排出係数=CO <sub>2</sub> 排出量		
電気	kWh	×0.521	=
都市ガス	m <sup>3</sup>	×2.21	=
LPガス	m <sup>3</sup>	×6.5	=
水道(上下水道)	m <sup>3</sup>	×0.65	=
灯油(石油ヒーター等)	L	×2.5	=
ガソリン(自動車等)	L	×2.3	=
ゴミ(可燃ゴミ)	kg	×0.34	=
CO <sub>2</sub> 排出量の合計(二酸化炭素換算)			kg-CO <sub>2</sub>

※排出係数は2015年4月(東京)のもの 各地の排出係数は <http://www.lohasclub.org/carbonfree/200.html>

(2) 1か月のCO<sub>2</sub>排出量を1人分・年間分に換算し、教科書p.122の年間排出量と比較しよう。

- ① 1人あたりの使用量を1世帯の人数で割って算出する⇒ kg - CO<sub>2</sub>
- ② 1か月 kg - CO<sub>2</sub> ×12= 年間 kg - CO<sub>2</sub>

2 CO<sub>2</sub>排出量をさらに軽減するためにできる節電アクションを考えよう。

(1) 省エネルギーのために家庭でできることを実践しよう。

家庭でできる節電の7つのAction~

※現在の状況に○をつける

ポイント	アクション	今行っている	すぐにする	たや将来的に	ポイント	アクション	今行っている	すぐにする	たや将来的に
こまめにスイッチオフ!	冷房・暖房は必要な時だけつける				照明で節電!	照明器具の掃除で明るさアップ			
	必要のない灯りはこまめに消す					点灯時間を短くする			
	見ないテレビはこまめに消す					リモコンを使わず照明のスイッチを切る習慣をつける			
	パソコンを使わない時は電源OFF					省エネ型の照明器具に買い替える			
削待機電力を!	こまめに主電源を切る				テレビで節電!	消す時は主電源をOFFにする			
	「スイッチ付きタップ」を使う					画面を掃除する			
	「オートOFF機能」を使う					音量は不必要に大きくしない			
						画面は明るすぎない省エネモードにする			
エアコンで節電!	フィルターの掃除をこまめにする				他にもここで節電!	炊飯器や電気ポットの保温は控える			
	室外機の周りにものを置かない					便座暖房の温度は低めに、夏はオフにする			
	扇風機やサーキュレーターを併用して風向きを調節する					洗濯はお風呂の残り湯を利用			
	夏の冷房は28℃、冬の暖房は20℃に設定する					送水にも電気を使用するのでシャワーの時間を短くする			
冷蔵庫で節電!	あいている時間を短く、余分な開閉はしない				我が家の節電				
	物を詰め込み過ぎない								
	熱いものは冷ましてから入れる								
	壁から適切な間隔で設置する								

(2) 自分の家で行っている節電アクションを表に書き込もう。

環境省HP「みんなで節電アクション!」より

(3) 行っていることを発表し合おう。参考になる節電アクションを書き出そう。